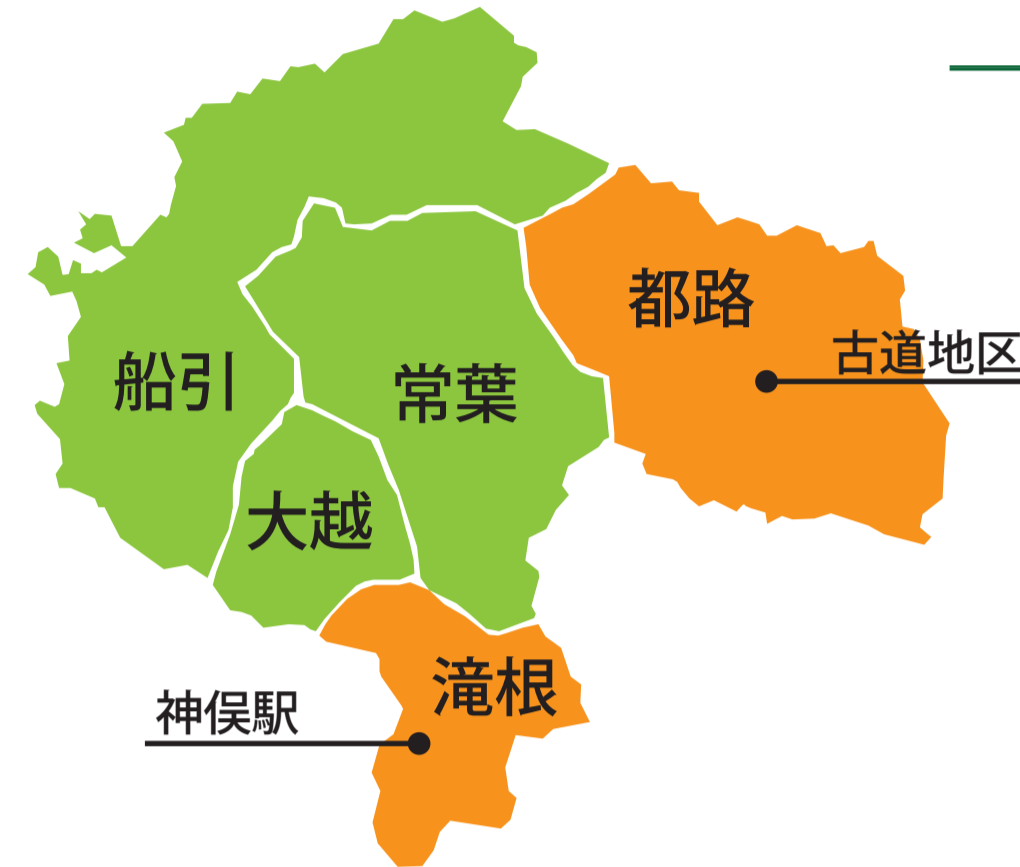




Professor Atsushi DEGUCHI
 UDCT Hiroo TANAKA
 Koichi IKEDA
 Yuki OKAMOTO
 M1 Keisuke OTSURU
 Takaya KAWAI
 Tomoki KUTSUNA
 Keisuke KURIBAYASHI
 Sho HASHIDO
 Kentaro NAKAJIMA

阿武隈高原 田村市

福島県田村市は、2005年3月に滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町が合併して誕生した人口約4万人の地方小都市である。市の主な産業は稲作を中心とした農業であり、葉タバコの生産量も多い。2011年の東日本大震災・福島原発事故に際しては、市域の東端の一部（都路地域）に避難指示が出されたが、2014年4月には全国で最も早く解除されている。



Urban Design Center Tamura

田村地域デザインセンター (UDCT) は、福島県田村市において、まちづくりを研究し実践を行う地域密着型シンクタンクである。田村市 (公)・住民団体 (民)・東京大学 (学) が連携して、地域の未来を切り開き、諸課題に取り組む新しい公共体である。



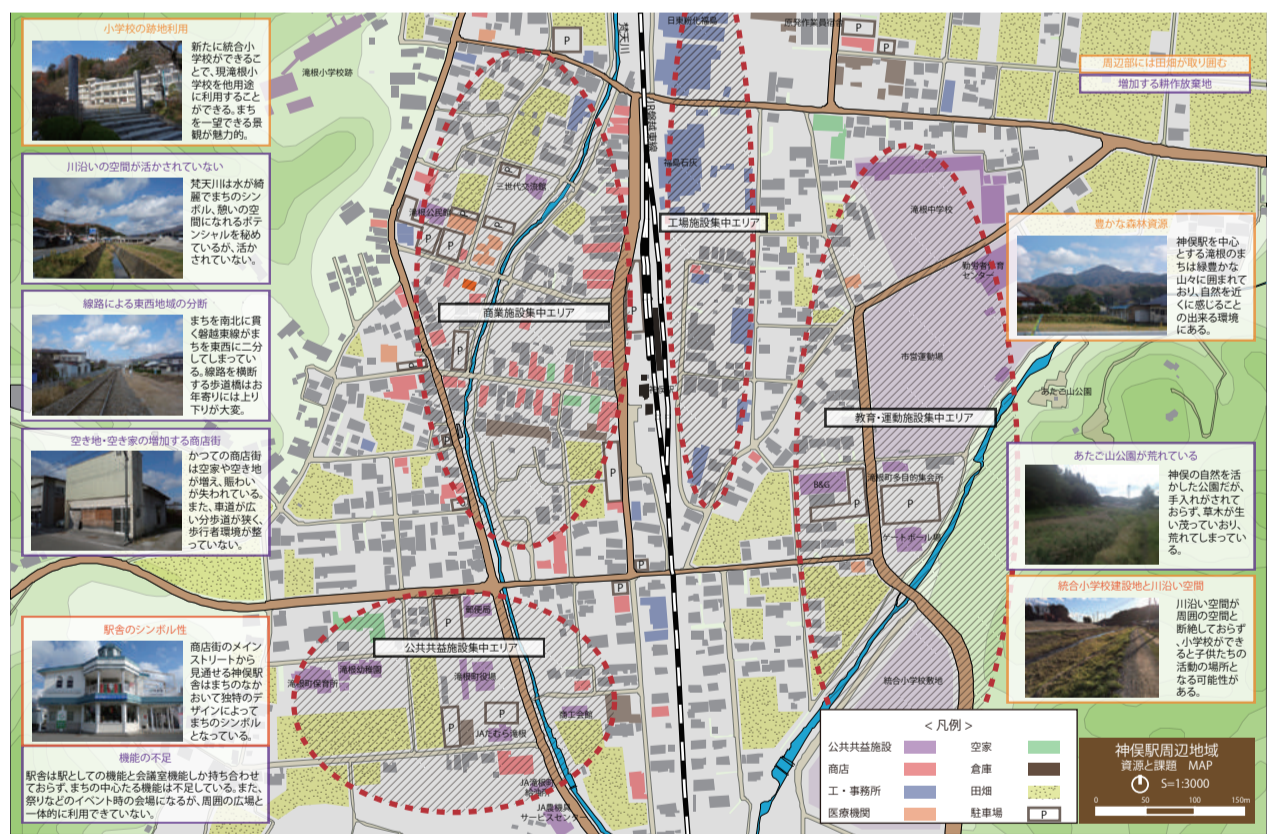
神俣 KANMATA

神俣駅の駅舎建て替えに伴い、新駅舎に備え付ける機能検討と共に、駅を中心とした周辺まちづくり方針の提案を行なう。



第1回神俣ワークショップ

神俣駅を中心とする滝根町の資源と課題を住民と学生が3つのグループに分かれて意見交換・整理を行った。



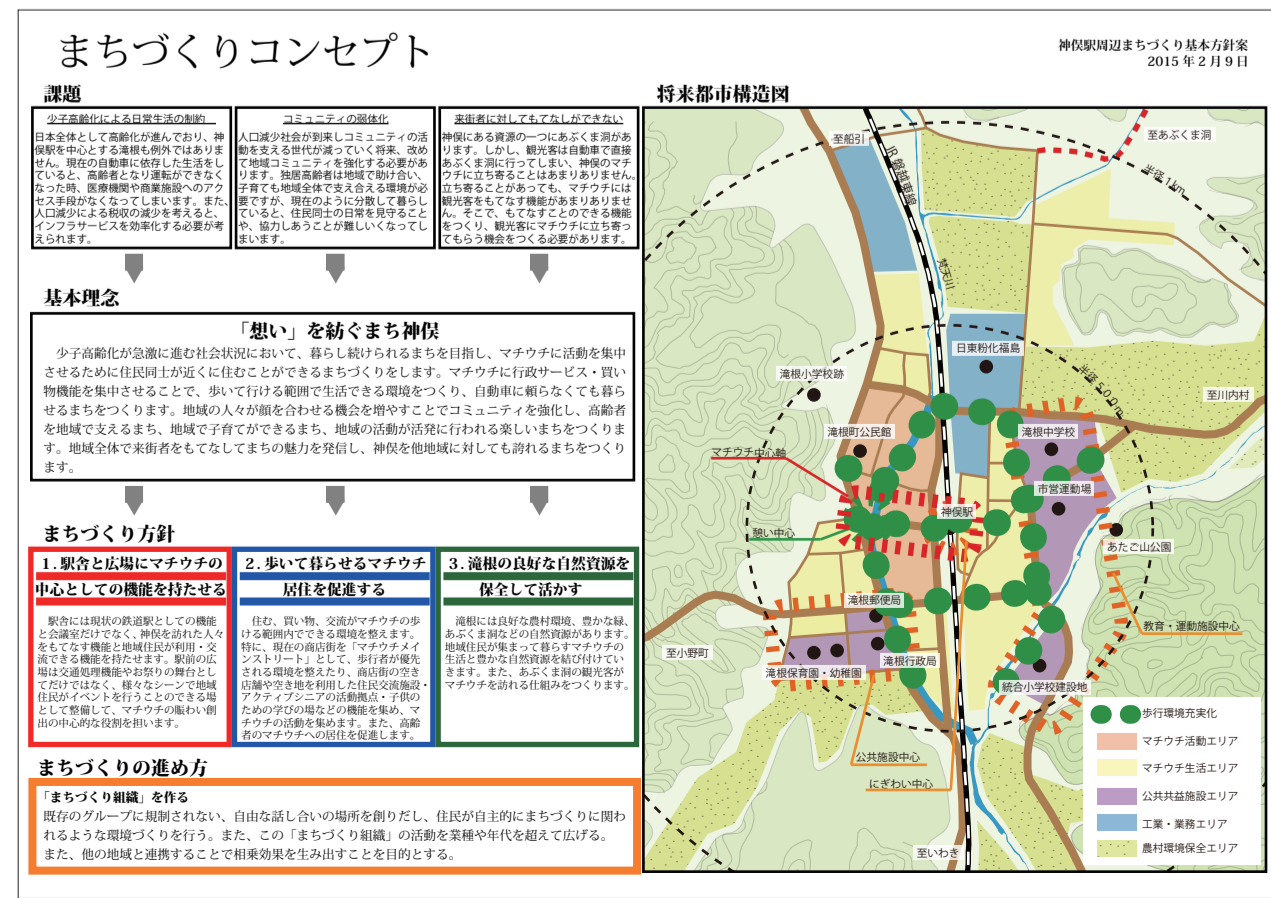
第2回神俣ワークショップ

まちの資源を活かしたまちづくりの提案を『神俣を良くする104の提案』としてカードにまとめた。



第3回神俣ワークショップ

神俣駅周辺まちづくり基本方針案として一年間のまとめを、住民に提案。



都路 MIYAKOJI

都路町の古道地区に公的賃貸住宅を設計する。住・商・農が一体となった拠点づくりに取り組む。



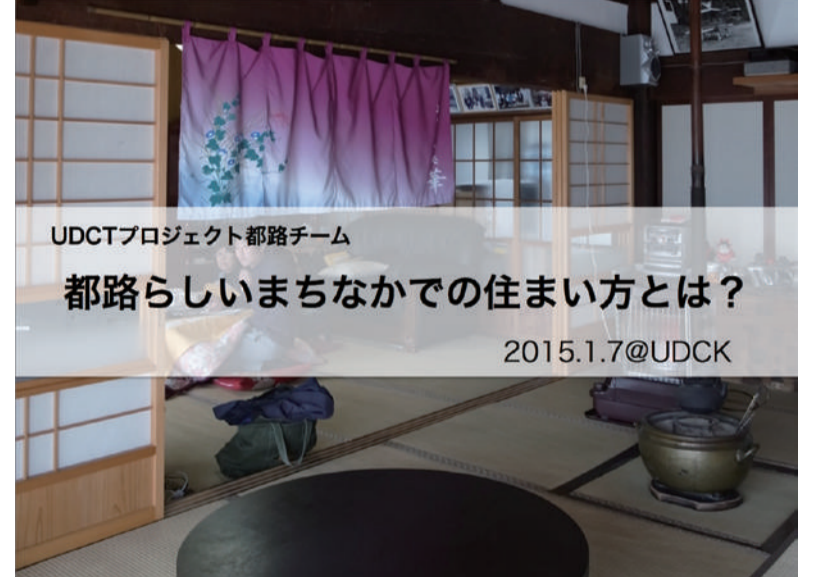
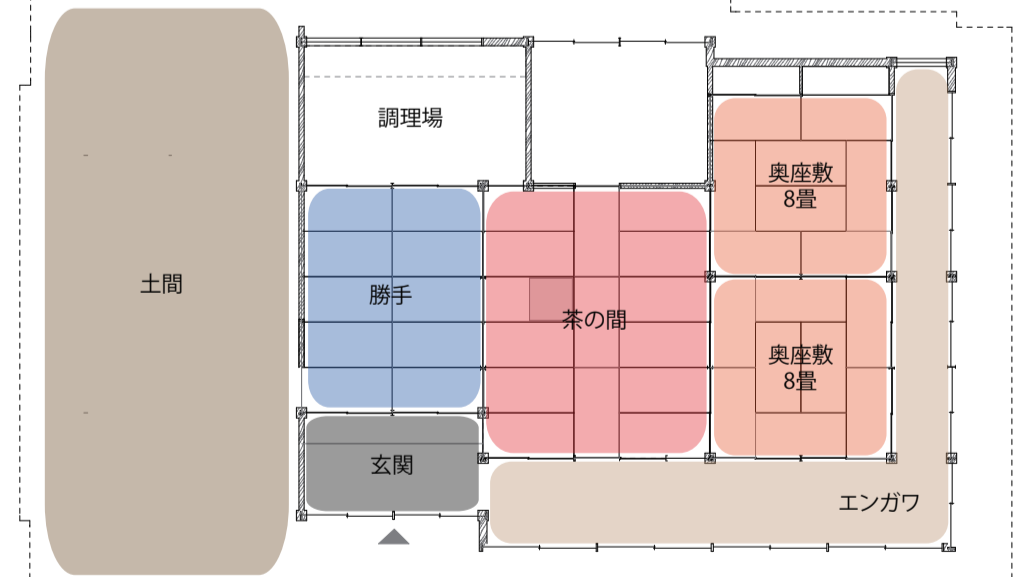
都路住生活基本構想協議会への参加

住宅・商業・農業の3つの部会に分けて、それぞれで意見を集約していった。



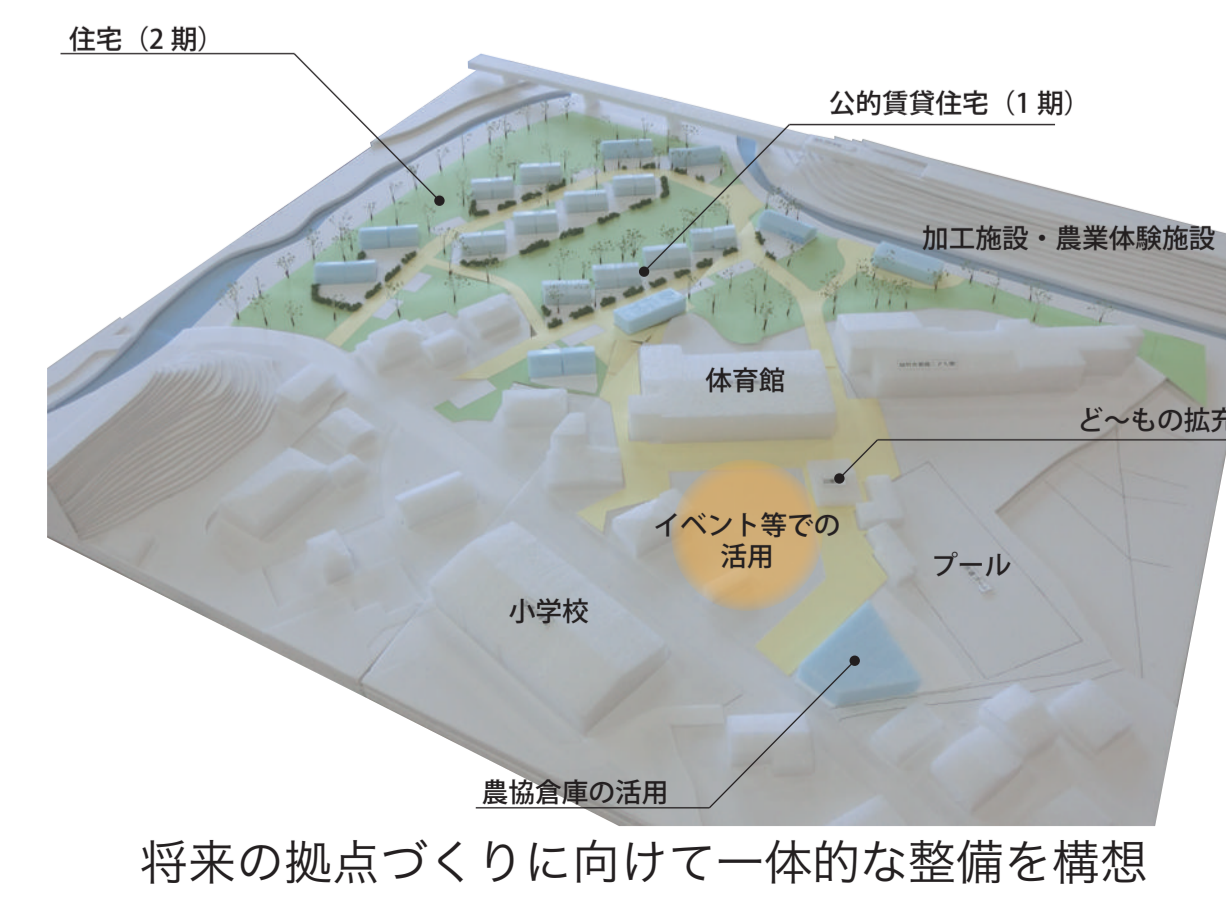
都路らしいまちなかでの住まい方とは？

都路らしい住まい方を探るため古道地区の古民家の実測を行い、そこから18の要素を抽出した。



公的賃貸住宅の設計

平成27年度の建設に向けて、公的賃貸住宅の設計の検討を進めている。



将来の拠点づくりに向けて一体的な整備を構想